

1. 調査概要

1) 調査名

昭和62年度フラワーハウス新築工事地質調査

2) 調査場所

能美郡辰口町地内

3) 調査内容

調査ボーリング $\phi 66$ m/m 深度 13.0 m 1ヶ所

標準貫入試験 (JIS A 1219) 深度 1 m 毎に実施

4) 調査期間

昭和 62 年 9 月 28 日 より

昭和 62 年 10 月 5 日 まで

5) 使用機械

吉田鉄工 YH - 1 型 試錐機 1 台

標準貫入試験器 (JIS A 1219) 1 式

6) 実施者

金沢市東山3丁目16番12号 TEL (0762) 52-6366

日本海ボーリング

代表者 野村 武

2. 調査結果

ボーリング調査は敷地内の位置図に示した地点で1箇所深度13mまで実施した。

その結果は柱状図に示した通りである。

今回の調査地は辰口町総合福祉会館敷地と県道金沢・小松線の間位置するところであるが、この地点は緩い丘陵地形に囲まれた谷底低地(旧耕地跡)である。

近辺の丘陵地は一般的に流紋岩質火砕岩類(主に凝灰岩)が基岩となっており、丘陵地縁辺部ではその上位に洪積世の堆積物が分布し、谷底低地では比較的軟弱な沖積堆積物が分布する。

敷地内で実施したボーリングの結果は、

地表 ~ 2.60m	粘土及びシルト質粘土	N = 0
2.60 ~ 6.20m	砂	N = 7~10
6.20 ~ 8.60m	シルト質粘土	N = 13
8.60 ~ 9.00m	粘土混じり砂礫	
9.00 ~ 13.00m	凝灰岩	N = 40~50以上

である。

地表下2.60mまでは非常に軟弱な粘性土であり、明らかに沖積粘土であるといえるが、その下位の砂・シルト質粘土・粘土混じり砂礫層などはN値や土質などからみて洪積世の堆積物であるとみなされる。

地表下9.00m以下の凝灰岩は近辺の丘陵地の基岩となっている新第3紀中新世の流紋岩質火砕岩類に属する凝灰岩である。

掘進完了後の孔内水位は地表下0.15mであったが、翌日には自然湧水(1.0ℓ/min.程度)となった。

このことは地表下2.60m以下の砂層中の地下水が被圧水となっているため湧水を生じたとみなされるが、帯水層の深度も比較的浅いため、降雨の影響や季節的な変動があることが予想される。

この敷地の地盤は地表近くは軟弱な地盤であり、又地下水位も高いため、建築基礎の方法としては地表下9.00m以下の凝灰岩を支持層とする杭基礎とすることが最も望ましい方法であるといえる。

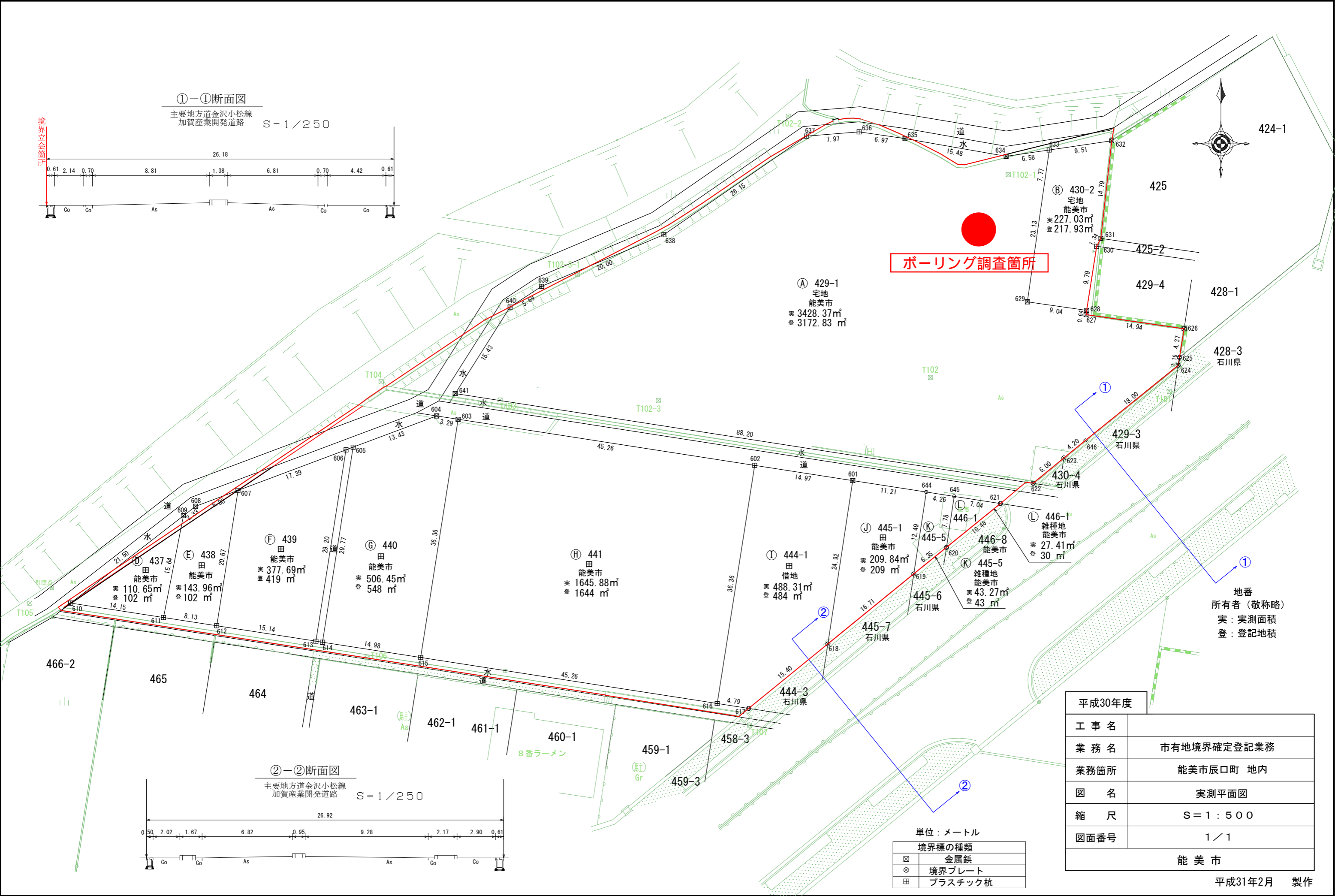
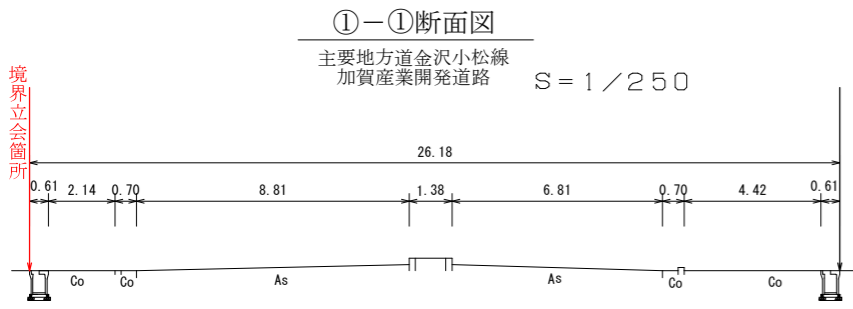
この凝灰岩は近辺一帯に基岩となって分布する新第3紀中新世の凝灰岩であり、ごく表層近くの風化部を除けば堅固なものである。

なお、今回は1箇所のボーリング調査であるため、敷地内の他の地点に於いては基岩(凝灰岩)に達する深度がいくらか異なる可能性も考えられる。一般的には谷の中心寄り、並びに下流側に基岩深度が深くなる傾向があるといえる。

ボーリング柱状図

ボーリング番号			備考
調査名	昭和62年度新農業構造改善事業ガラス温室設置事業地質調査		
工事主体名	辰口町		
調査地点	能美郡辰口町地内		
調査年月日	62年9月28日 ~ 62年10月5日		
標準高	基準		
使用機械	吉田鉄工 YH-1 型試験錐機		
実施者	日本海ボーリング		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	孔内水位 (m)	記号	色調	地質名	記事	相対密度	標準貫入試験					採取方法	料番号					
										N値	10cm 毎の 打撃回数			10 20 30 40 50							
										10cm	20cm	30cm									
0				0.15		灰	粘土	上部草根混り 含水多く非常に軟かい		0	0										
1	1.20	1.20				灰	シルト質 粘土	砂分多く 非常に軟かい		0	0										
2		2.60	1.40			黄褐	礫混り砂	φ3cm以下の亜円礫 粗粒砂多い		10	3	3	4								
3		3.30	0.70			黄褐	砂	粗粒の砂 まれにφ1cm位の亜 円礫含む		7	1	2	4								
4						黄褐					10	3	3	4							
5		6.20	2.90			褐					10	3	3	4							
6						暗灰	シルト質 粘土	弱固結状のもの シルト質粘土~粘土 質シルト		13	3	4	6								
7						暗灰	粘土	細砂分含む		13	3	5	5								
8	8.60	2.40				暗灰	粘土混り砂礫	φ2~3cm位の安山岩質な礫		44	5	12	27								
9	9.00	0.40				暗灰	風化凝灰岩			40	10	14	16								
10						暗灰	凝灰岩	一部コアとなる 砂質凝灰岩		43	13	14	16								
11						暗灰	凝灰岩	亀裂少いがコア は砕け易い		50 28	14	18	18 1/2								
12						暗灰	凝灰岩			50 17	24	26 1/2									
13	13.00	(3.70)																			



ボーリング調査箇所

Ⓐ 429-1
宅地
能美市
実 3428.37㎡
登 3172.83㎡

Ⓑ 430-2
宅地
能美市
実 227.03㎡
登 217.93㎡

Ⓓ 437
田
能美市
実 110.65㎡
登 102㎡

Ⓔ 438
田
能美市
実 143.96㎡
登 102㎡

Ⓕ 439
田
能美市
実 377.69㎡
登 419㎡

Ⓖ 440
田
能美市
実 506.45㎡
登 548㎡

Ⓗ 441
田
能美市
実 1645.88㎡
登 1644㎡

① 444-1
田
能美市
実 488.31㎡
登 484㎡

Ⓙ 445-1
田
能美市
実 209.84㎡
登 209㎡

Ⓚ 445-5
田
能美市
実 43.27㎡
登 43㎡

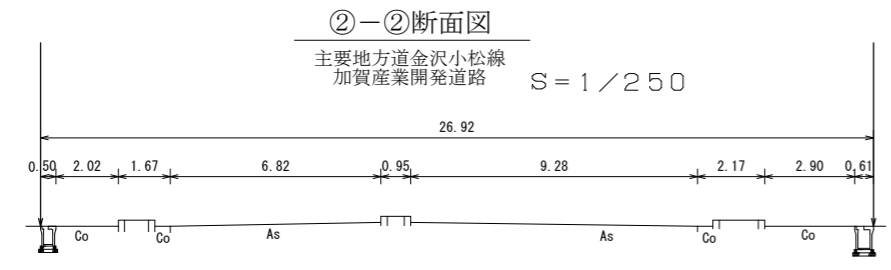
Ⓛ 446-1
雑種地
能美市
実 27.41㎡
登 30㎡

Ⓚ 445-6
田
石川県
実 43.27㎡
登 43㎡

① 445-7
田
石川県

① 444-3
田
石川県

地番
所有者(敬称略)
実: 実測面積
登: 登記地積



単位:メートル

ⓧ	境界標の種類
ⓧ	金属板
ⓧ	境界プレート
ⓧ	プラスチック杭

平成30年度	
工事名	市有地境界確定登記業務
業務名	能美市辰口町 地内
業務箇所	能美市辰口町 地内
図名	実測平面図
縮尺	S=1:500
図面番号	1/1
能美市	